



令和4年度 雄島小学校スクールプラン

【学校教育目標】
「サイコー 雄島笑楽幸!」

【めざす児童像】
「海の子 太陽の子 雄島の子」



【学校生活目標】

自ら学び、心豊かで、たくましく粘り強い子の育成

・よく考える子 ・助け合う子 ・元気で明るい子 ・最後までがんばる子

お:大きな挨拶 し:しっかり仕事 ま:守ろう命 マ:守ろうマナー ル:守ろうルール

- 教師の願い
 - ・優しく思いやりのある心豊かな子
 - ・よく考え、自分の思いを表現できる子
 - ・自分の役割を自覚し真面目に働く子
- 保護者・地域の願い
 - ・元気で挨拶ができる子
 - ・優しく思いやりのある子
 - ・自分で考えて進んで行動する子
- 児童の実態
 - ・明るく素直な児童が多く、元気に活動する
 - ・人懐っこい児童が多いが、あいさつは小さい
 - ・家庭学習の時間が短く読書量が少ない

具体的な取り組み

【確かな学力】

- ◆日々の授業の質の向上
 - ・教師相互が高め合う授業研究
 - ・自ら表現しようとする児童の育成
- ◎基礎・基本の学力の定着
 - ・チャレンジテストで基礎学力の定着
 - ・学習ルール・学習作法の浸透
- ◎読書活動の推進
 - ・多読賞・親子読書の推進
- ◎英語科・外国語活動の研究推進
 - ・楽しく学べる授業の研究・環境整備
- ◎ICTの活用、プログラミング教育の推進
 - ・タブレットの日常使いと活用
 - ・Pepperの活用、プログラミング教育の推進
- 家庭学習の習慣づけ
 - ・「けてぶれ学習法」の浸透
- 特別支援教育の推進
 - ・個に応じた指導と支援の充実

【豊かな心】

- ◆挨拶運動の推進
 - ・大きな声で気持ちの良い挨拶
 - ・挨拶週間による全校的な挨拶運動
- ◎いじめの未然防止・早期発見
 - ・いじめ自己チェック、スマイルアンケート実施
 - ・情報リテラシーやネチケットの指導
- ◎こころの教育の推進
 - ・心に響く道徳の授業
 - ・年間を通じた人権教育の推進
 - ・学年に応じた福祉体験活動の実施
- ◎粘り強くがんばる子の育成
 - ・時間いっぱい取り組む無言清掃
- 不登校予防と早期発見
 - ・魅力ある学校づくりの取り組み
 - ・教職員相互の児童理解の充実
- 縦割り活動を通じた絆づくり
 - ・思いやりの心を育む縦割り活動

【健やかな体】

- ◆危機管理能力の育成
 - ・交通安全教室、集団登下校の指導
 - ・防災教育(避難訓練)の充実
 - ・防犯教室(ひまわり教室)の実施
- ◎年間を通じた体力の向上
 - ・ランランタイムによる持久力の向上
 - ・授業体育の充実、運動の紹介
- ◎健康教育の充実
 - ・感染症予防の徹底及び習慣化
 - ・虫歯の治癒率アップ
- ◎地域と連携した安全体制の構築
 - ・地域見守り隊との連携強化
- 定期的な安全点検の実施
 - ・毎月の安全点検、遊具点検
 - ・校内内の巡回当番活動
- 生活リズムの確立
 - ・目の体操の実施、睡眠ログの活用

【信頼される学校】

- ◆保・幼・小・中の連携
 - ・交流を通じた保幼小の接続(なかよし会交流事業、体験入学等)
 - ・スタートカリキュラムの活用
 - ・小中連携事業の推進
- ◎開かれた学校づくり
 - ・ホームページ、学校便り等による情報発信
 - ・オンラインを活用した学校公開の工夫
- ◎PTAや地域との連携
 - ・PTAとタイアップした児童活動の推進
 - ・地域施設、人材の積極的な活用
 - ・「雄島学」を核としたふるさと教育の推進
- ◎不祥事防止のための取り組み
 - ・教育公務員としての自覚の醸成
- 教育活動の活性化
 - ・学校評価アンケートの実施と結果公開
 - ・家庭・地域・学校協議会の活用

数値目標

- 基礎・基本の学力の定着
 - 目標:チャレンジテストの合格率 90%
 - 目標:地区確認テストの地区平均超え
- 読む活動(読書や新聞)の推進
 - 目標:全校多読賞達成者 80%

確かな学力

- 自分の居場所がある学校・学級
 - 目標:学級、学校が楽しいと感じる子 90%
- 粘り強くがんばる子の育成
 - 目標:おそうじがんばり賞受賞者 90%

豊かな心

- 健康的な体づくり
 - 目標:進んで体力づくりに取り組む子 95%
 - 目標:マラソン大会の完走率 90%
- 健康教育の充実
 - 目標:「全員登校の日」20日以上

健やかな体

- 開かれた学校づくりの推進
 - 目標:情報発信による保護者満足度 90%
- 教育活動の活性化
 - 目標:学校教育に対する保護者満足度 90%

信頼される学校

*業務改善のための取組:◎一斉退庁デーの設定と徹底 ○自己退庁時間の設定 ○会議の精選・重点化と終了時間の設定 ○ITを活用した職員間の情報共有 ◎学校行事や指導教材の精選